

# ひがし

No. 219

'54 2 / 20

人口の動き

—1月末住民登録 人口から

世帯数 ..... 954 世帯

人口 ..... 3,871 人

転入 ..... 10 人

転出 ..... 4 人

出生 ..... 2 人

死亡 ..... 3 人

先月と比較して 5 人増

昨年同月と比較して 49 人減

広報

# しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 企画広報課

■ 印刷 / 関市中部印刷社



鬼ワーツト  
福ワーウチ

逃げ回る鬼をめがけ、<sup>ニ</sup>鬼ワーツト、<sup>ニ</sup>福ワーウチ、と豆を投げつけるちびっ子たち。

近くまで来ている春に早く来いと呼びかけているようでした。

—2月3日五加保育園で

主な内容

- ほくらの夢そして村の将来 ..... P 2~
- 春の全国火災予防運動 ..... P
- 税の告知板 ..... P
- 成人式のもよう ..... P
- 第31回青年演劇発表会 ..... P
- シベリア感情旅行記 ..... P
- 村の文化財 ..... P
- 子供会卓球大会 ..... P
- 村誌編さん室だより ..... P
- 暮らしの中の自治用語 ..... P
- けいじ板はP 8の下欄

# して村の将来

華やかだった高度成長時代は過ぎ、現代は円高不況の厳しい社会情勢のまっただ中。わたしたちの村も、この厳しい情勢下で今、大きな転換期にさしかかっているといえます。過疎対策や産業の振興など、なおいっそう力を入れなければならぬことがたくさんあります。今回は、将来この村の担い手となる中学生たちに、村の将来や自分の夢について聞いてみました。



東白川中一年 村 雲 美 和 子

## 美しい緑の山や川など 自然を守って行きたい

な心を持ち、仲よくできるんじゃないでしょうか。そうすれば村の人たちが助け合って、譲り合い、また人には笑顔でむかえられると思います。そして、お互いにあることができるんじゃないでしょうか。人に会ったときなど、「おは

ようございます。」と気持ちよくあいさつすれば、相手も気持ちがいいと思います。

意見を出し合うことのできるようにしたいのです。なぜかというところ、お互いに悪いところを直し合い、よりよい村づくりにはげんでほしいからです。

わたしは、将来そんな村になったらどんなにかすてき、いや、すばらしい村になると思います。今ならこの村でもできそうな気がします。だから、村の一人ひとりがそういうことに心がけるような村にしたいのです。

わたしは、東白川村の将来について考えてみました。

わたしはまず、この東白川の自然を守って行きたいと思っています。美しい緑の山や川など、こんなところ生まれきたわたしは幸せだなあと思っています。

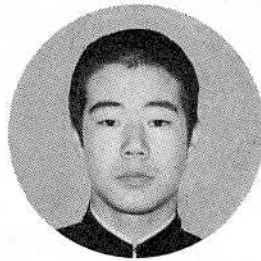
しかし、このごろでは、村の人たちの中にもこの自然をよごしている人を見かけます。このままではいけないので、今までのこの自然を守りたいと思います。

それに、産業についても、白川茶や養蚕、また東濃ひのきなどこの自然があったからすばらしいものが生まれたと思います。

次に、今までの伝統的な行事ももっと盛んに行うといいと思います。例えば、左義長、お祭りなど村の人たちみんなが参加して楽しんでほしいと思います。

このごろでは、だんだん昔のことが消えて行ってしまうので、そういうのを大切にしようとおきたいと思っています。

それに、もっと村の人たちが仲よくできる行事を増やせると、お年寄りから子供までみんなが豊か



東白川中一年 桂 川 秀 信

## そぼくさが残る 心の休まるふるさとに

職します。

最近、村に若い人が増えたとは思いますが、若い人の働く場が少ないと思います。

何年か後には隣りの加子母村を鉄道が通るようになるということですが、間にある東白川村は過疎になってしまおうということはないと思いますが、大きな企業が入ってこないかぎり発展もないと思います。

大きな企業が入ってきて、若い人たちの働く場所が増えることはよいことだと思いますが、将来ぼくたちが卒業し、村外に出て社会人となったとき、自分の帰ってこるふるさととは今のままであってほ

くは、親せきの人も今年卒業します。長男なのですが、村外へ就

しい。そしてほくらが遊び育った思い出をいっぱい残して置いてほしい。

緑の山、水泳をしたりつりをした川、そんな村……。しかしそれは時代とともに少しずつ変わって行くのではないのでしょうか。

ぼくたちの学んだ小学校もあと一年で、統合小学校という自然の中に新しい時代の企画をとり入れたりっばな学校に変わる。

あの思い出の校舎はどうなってしまうのだろうか。どんなに変わっても、発展しても、山の中のそぼくさだけはどこに残っていて心の休まるふるさと、そんな村であってほしいと思います。

# ぼくらの夢



現在東白川村の人口は四千人弱。年々減って行ってしまっています。その原因は村内では働き口が



## 小さな村の小学校で先生として働きたい

東白川中一年 大坪 雅世

わたしの夢、つまり自分の将来について書きたいと思います。

小さいころのわたしの夢は、ピアニストになりたいと思っていました。でも、今では小さな村の小さな小学校の先生になりたいと思っています。小さな村の小さな小学校の先生という意味は、町のよ

## 将来を背負うわたしたち 今以上の村づくりに努めたい

東白川中二年 田口 悦代

く、自然の中で育った元気な子供ばかりいる小学校ということ。その小学校で、元気な子供たちといっしょにはしゃいで、飛び回って遊んでみたいのです。あるときは泣き、あるときは笑い、そして怒るときもあるでしょう。そのような生活の中でわたしは、なにかを学びとり、小さな子供の気持ちをわかってあげる。そんな先生になりたいのです。

中には泣き虫で気の弱い子もいる。勉強ができて泣いている。全員が明るく心豊かになっていきたいものです。

ていません。でも、ピアノの先生になろうという気持ちは少しはあります。

今の夢小学校の先生は、できれば東白川の小学校で働きたいと思っていますが、そのころにはもう統合小学校になっているでしょう。できれば統合されていない、今までの三つの小学校のままでいいのですが、小さな村にはいいかなと思います。

黄色い小さな花の咲いている野原へ行って、男の子は走り回り、女の子は花を摘んで、そしてみんな飛び回って遊ぶことができたらいと思っています。

少ないので村外へ出てゆき、村外で住むようになってしまおう人があからずです。

東白川は第一次産業の人口が多く、第二、三次産業人口は少ないです。人口が多くなるには卒業してから安心して就職できる働き口を多くすることです。だから、第二、三次産業をもっと村内におこせばいいでしょう。

ですが、隣なのに仲が悪いとか、隣の人の家の悪口をベラベラとしゃべりまくるとか、またその反対に「隣は何をする人ぞ」で無関心だったりとかいうことです。もしも、この村がそんなふうにエスカレートしていけば、この住みよい村も住みにくいところになってしまおうでしょう。

人口がどんなに増えようとも、集団行動で大切なことはお互いに励まし合い、助け合うということです。各家庭から村内への人た

これからいつまでも大事にして、村の歴史を忘れてしまわないようにしたいものです。

私は前のことをまとめて、次の三つの夢を実現したいです。

一、家庭の輪を隣から隣へと広げ、村ぐるみ団結が強くなるように心豊かになる。

二、自然を大切に、郷土を守る。

三、村の昔からの伝統的なものや行事をいつまでも残す。

この願いをかなえるのはゆくゆくは東白川村を背負って立つわたしたち中学生です。わたしはこの夢を実現させることがきたらぜひともかなえ、今以上の村づくりに努めたいと思います。

# 悔いを残さない道を選び

## りっぱな人になりたい

東白川中一年 榎間 和也



の気持ちを教えてくれた。人々に名前が知れわたっている人は、もちろん苦勞をし努力を重ねて人々から認められるだけのことをしているからりっぱな人だと

成人の日に、青年の主張を聴いた。そのときの男の人だが、この人は父親のあとを継いで牧場を経営している。この人もほくたくくらしいのときはいろいろな夢を持っていたでしょう。きっと牧場を自分の手でやるなんて、思ってもみなかったと思います。子供のときから牛の飼育を命ぜられ、いやいや牛を育てていったのだと思います。厳しい父親と牛のふんがこの少年を強く、耐えることのできる人にしていった。そして今、青年はこの職業に喜びを感じそれを誇りにしていた。自分の選んだ道に悔いはなかった。そんな職業につきたい。この青年をみてつくづく思った。この青年は、普通のサラリーマンにはないすばらしい職業と、冒險心を教えてくれた。耐えぬこととのつらさと尊さ、両親への感謝

## いつまでも

### 自慢できる村に

東白川中2年 安江 一二美



思います。しかし、全然名前を知らない人でも、小さいことだけでも努力していると思います。ほくはこの人たちこそ、目標にでき、追いつくことも可能にする人たちだと思います。ほくの周りにはそんな人たちがたくさんいると思います。その人たちを追いぬき、自分の選んだ道に進み、りっぱな人になりたい。

今の東白川村には、新聞にでていような交通事故、殺人といいたいやな恐ろしい事件はありません。それは、村じゅうの人が仲よく助け合い、はげまし合って楽しく暮らせるよう願っているからだと思います。何年か後には、この村にもいろいろな工場が建ったり、国道ができたりにして発展するだろうと思います。でも、そうすれば交通事故も増え、空気や水も汚染されてだんだん自然がなくなっていく、自然に慣れているわたしたちにとってはたいへん住みにくくなるんじゃないかと思っています。だからわたしは、今の自然はこのまあいっまでも残しておきたいと思っています。そして、悪いところはみんなでおしてよくして行き、よいところはもっと伸ばして行って自分の「ふるさと」としていつまでも自慢のできる村であってほしいと思います。

# 障害者のために尽くしたい

東白川中一年 桂川 容子



先日、「ねむの木」の歌が聞こえる」を見ました。そして、宮城まり子さんの、心からの大きな愛情にひどく心を打たれました。身体障害者のために、あんなにいっしょうけんめいになれるなんて。宮城まり子さんー普通の人と何か違ったものを持っている人だと思えます。障害者と一体になっっているのです。

寂しいときは、まるで自分自身のように大きな涙を流し、うれしいときはともに喜ぶのです。そのときわたしは、今までの自分は何と情けない人間だったんだろうと思った。

わたしが小学生のとき、岐阜城へ行ったときのことです。そこでわたしはたっくさんの小児マヒの人に出会った。今では、小児マヒという、たいへんかわいそうな人だと思ふのに、あときは初めて見た恐怖とともに「細い手足」、

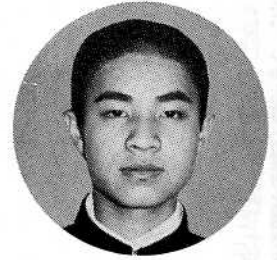
「自由のきかない体」、目の前にあった顔」、とても人間とは思えなかった。それが、わたしの心にあとあとまで一つのこわいものとして残っていたのです。

しかし、今では不自由な体でもいっしょうけんめい生き、そして社会のために役立とうとしているむしろ普通の人よりもりっぱな人と思える。

今、自殺する人が増えている。実際、わたしたちと同年代の子が自ら命をたっている。どうしてもっと生きようとしないうる。自分が弱いんだらうか。その点障害者はりっぱだ。生きる喜びを知っている。そして、そのりっぱな人たちを支えている養護施設の先生たちー心から尊敬できます。

わたしは、将来この先生たちのように、社会のために役立つ人になりたい。それが大きく目に見えるようなものでなくてもいい。

「尊敬」「ほめられる」そんな言葉はいらない。ただ、今にもこわれそうなたちのために、いっしょうけんめい生きようとしている人たちのために、わたしは尽くして行きたいと思う。



# 美しい自然と そぼくな人柄の絶えない村に

東白川中二年 今 井 嘉 徳

今年はおもうほくも中学三年生。もうあと一年もすれば進学、就職問題が待っている。進学するにしても就職するにしても、きっとこの村を出て行くだろう。そして、何年か先この村に帰ってきたらいたいどんなふうに変わっているだろう。

東京みたいな大都市になっているかもしれない。にぎやかで近代的でいいが、その反面空気が川の水が公害で汚染されてしまう。

でも、東京だって前からあんなににぎやかじゃなかった。あんなに公害だらけじゃなかった。五十年前、百年前は東京だってあんなにきたなくなかったはずだ。なぜあんな都市になったのか。

一つは日本の首都だから、もう一つは人類が目ざましい発展をとげたからだと思う。近代都市はいけどほくとしては東白川をそんなく公害都市にはしたくない。しかし、人類の進歩に比例してゆくの自然破壊なんだから自然を壊すなどいっても無理。しかし、ほくはもしてできることなら東白川を今のままで未来へもって行きたい。

自然は壊してからではおそい。公害がでてから自然をとりもどすなんてことは不可能に近いんだ。自然を残すためには、この村を守って行く人たちが必要になる。それは、またほくたちでもある。村を守る人の心の動きで、この村の運命が左右されるんだ。よくもなり悪くもなる。このようなことから、ほくとしてはいつまでも美しい自然の絶えない村であって



# 美しい川と緑につつまれ 安定した生活ができる村に

東白川中二年 桂 川 江 利 子

東白川の美しい川、すばらしい緑をわたしはすてたくないと思っています。

でも、将来わたしたちはこの村で生活して行くことができるでしょうか。いくら美しい村であっても生活して行くことができなくてはだめだと思っています。

わたしたちはよりよい生活ができるよう考え、これ以上の過疎地にならないようにしたいと思っています。今、この村ではいろいろな大会

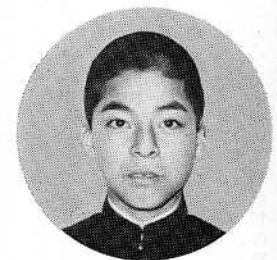
不便なところを便利にして

# いっそう住みよい村に

東白川中2年 河 田 孝

が行われています。例えば、「新春バレーボール大会」「マラソン大会」「村民運動会」などです。これは、村民の親ほくのためにとてもよいことだと思います。そして、この村だけの利点だと思っています。

だから、ずっとこのようなことを続けて行き、また、新しく楽しい会を作るなどしてほしいと思います。そして、将来東白川村は村民が安定し、楽しく生活できるようになっしてほしいと思います。



東白川村は、ほくが小学校の高学年になったころから大きく変わりつつあると思う、例えば、村民センターの建設だ。村民センターができるまではいろんな団体が集まっていたかをするときにも、狭い公民館などを使ってやらなければならなかった。

しかし、センターができたことで、一か所に集まって広く使えるようになり便利になった。

それに、建設中の東白川小学校だ。この小学校統合問題は前からいろんなことがあったが、昭和五十五年に開校すると東白川の児童たちが一か所に集まることになり、そうなること村内の情勢も変わって行くだろう。こんなふうにして、不便なところを徐々に便利にして、いっそう住みやすい村にしなければならぬ。しかし、発展して変わり過ぎたら困るような気もする。ほくたちが村外へ出て帰ってきて、「これが東白川か？」なんていわなければならなくなるかもしれないからだ。だから、東白川だからこそ味わえる自然だけは、残しておいてもらいたいと思っています。

2/28  
~3/13

# 春先は火災の多発期 春の全国火災予防運動

二月、三月は空気が非常に乾燥し、強い風が吹くことが多く、加えて暖房器具などの火気使用もあって、一年のうちでも火災の多い時期です。火災による犠牲者も多く、五十二年はこの二か月間で年間死者の約三割を占めています。本村でも今年に入って早や二件の火災が発生しています。火災は財産だけでなく、時には尊い人命までも奪ってしまう恐ろしいものです。

今年も、二月二十八日から三月十三日まで「春の全国火災予防運動」が行われます。この機会にどのご家庭でも予防消防といたうことについて考えてみてください。

## 「移動する火元」 摂氏七〇〇度 たばこが火災原因のトップ

出火原因で最も多いのはたばこの不始末で昭和三十五年以来連続十八年間、件数・損害額ともにトップの座を占めています。

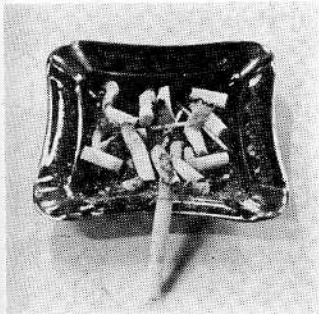
五十二年中のたばこによる火災は、全国で九千六十九件発生し、損害額は約百二十一億円で前年と比べて十四億円も増えています。

さて、愛煙家は全国で約三千五百万人。つまり国民の三人に一人が、一日当たり男性約二十四本、女性約十六本——合計すると、一日に全国で約八億二千五百万本のたばこが吸われている計算になります。

喫煙は、朝起きてから夜の寝るまで、しかも時と場所を選びませ

ん。当然のことながら、たばこという「火元」は喫煙者とともに移動し、生活のあらゆる場で一歩間違えば出火の原因になる危険性を秘めています。

たばこは、火源としては小さい



が、燃焼温度は七〇〇度〜八〇〇度です。私たちの身の回りには、この温度以下で着火する可燃物が

## 初期の三分間が勝負 あわてずに落ちついて

どんな火災でも、はじめは「ポヤ」。期を失せず、あわてず消火すれば火災を大きくしないで済ませます。

火がでたからといって、さっさと逃げだすのは感心しません。まず、「火事だ」と大声で隣近所へ知らせるなり、有線放送などを利用して消防団に応援を依頼するなどしてから、消火行動をとることが何よりも大切です。

火災のようすは燃えている場所や燃えている物によってそれぞれ異なりますが、一般の住家の場合ふすまなどに火がつき、天井に炎が達するまでに普通三〜五分ぐらいかかります。

この三分間があなたにとって大切な初期消火の時間なのです。天井に火が入るまでが、初期消火の限界です。

たくさんあります。

たばこを吸う方は、いま一度正しい喫煙管理の実行心がけてください。

また、たばこの火に限らずふだんから火の元に注意するとともに「いざ」というときにどうするかを、日ごろから家族みんなが話し合うなどの努力も大切です。

## 火災時の有線使用

この「立ち上がり」の燃えを押さえることが初期消火の最大のポイントです。

煙や炎にまどわされず、あわてずに落ちついて消火すれば、案外たいしたことなく火は消えてしまうものです。

本村内で発生した最近の火災で共通して反省事項にとり上げられるのは、火災時の有線放送電話の利用の問題です。

もちろん火災時は、現場付近の連絡や状況報告など一般のみなさんの利用度も高く、また非常事態のため無理のないことかもしれません。

しかし、実際には消防活動に大きな支障をきたしています。そのため現場と本部との間の適確で素早い情報交換が困難な場合がしばしばあります。

## 留守中の火災

留守中の間に火事になり、出火原因を調べてみると、座ぶとんに落ちていたたばこの火が原因だった、などというケースがしばしばあります。

東京消防庁が調べた「ふとんにたばこの火が落ちて出火するまでの時間」により、最も多いのが「二時間以上〜二時間未満」で、全体の約三割。次いで「二時間以上〜三時間未満」(二二%)、「三十分以上〜一時間未満」(一七%)などとなっています。

たばこの火の場合、出火までの時間が長いのが特徴です。ですから、たばこの火の不始末の場合気がつかないでいる限り、「留守中の火災」も十分あり得ます。お出かけ前にはもう一度、たばこの火の始末それに電気こたつなどの消し忘れを確認してください。

# 税の告知板

## 期限は三月十五日まで

### 所得税・村・県民税の申告

昭和五十三年分個人所得の申告時期になりました。所得税、村・県民税とも三月十五日までに申告することになっていきます。

すでに皆さんのお手元に、あなたに必要と思われる申告書が届いていると思いますが、納税の義務と、生活環境の整備福祉の向上など豊かな村づくりのため正しい申告をされるようお願いいたします。

### 住民税

住民税(村・県民税)は、昭和五十三年中(一月から十二月)の所得について、少しでも所得があった人は申告していただく必要がありますから、次の事項に該当する人はもれなく申告してください。

- ・ 営業、農業など事業所得のある人
- ・ 不動産所得(地代、家賃など)のある人
- ・ 大工、左官、日雇労働などで事業主から給与支払報告書を役場へ提出されていない人(事業主に聞いてください。)
- ・ 配当、利子、譲渡などの所得のある人
- ・ 給与所得者で、事業主から役場へ給与支払報告書が出されていない人(事業主に聞いてください。)

### ください。

給与所得のほかに、各種の所得(農業、営業、地代、家賃木材、配当など)のある人、年の途中で就職し、または退職した人で、事業主から給与支払報告書が役場へ出されていない人

医療費や災害等の控除を受けようとする人

申告書の記入にあたっては、申告書と同時に届けた「申告書の書き方」をよく読んでください。また、白色の事業主へは簡単な決算書の用紙をお届けしておきましたので必ず記入して申告書に添付してください。

なお、所得税の確定申告をした人は、村・県民税の申告は必要ありません。

### 所得税の

#### 確定申告

前年確定申告をした人で、今年も必要と思われる人には、申告書の用紙を税務署からお届けしてありますが、今年新たに確定申告をする人には、役場に申告書の用紙が用意してあります。

特に注意していた

きたいことは、農業や営業収入のほかに日雇いあるいは副業的な収入がある場合は、それらの所得を全部合算して申告してください。

また、サラリーマンでも、五十年中に農業、営業などの収入や山林の売却、土地の譲渡があった人は確定申告をする必要があります。



今年も、例年のとおり申告相談日を設けていますのでお気軽にご相談ください。特に土地や建物の譲渡などについての確定申告の相談は三月二日におでかけください。

◎所得税の申告書は役場を経由して出してください。

## 国民年金保険料が

### 四月から変わります

今年四月から、国民年金の保険料が現在の月額二千七百三十円から三千三百円に改正されます。

今回の改正は、昨年七月に拠出年金、八月に福祉年金の年金額が

それぞれ引き上げられたことによるものです。

ご存じのように、国民年金の年金額は生活水準の変化などに応じて、自動的に改善されることにな

っています。

ところで、この年金給付の財源は、加入者が納めている保険料と国庫金の両方でまかなわれています。

このため、年金が引き上げられたときは、それに応じて保険料の額も引き上げる必要があるのです。

保険料の給付についてのご相談は、役場の住民係で受けつけています。

### 支給を受けるには:

年金がもらえる身でありながら請求しないために、支給を受けていない方はおられませんか。

老齢年金、通算老齢年金などの年金をうける人で、つぎのような年金をもらう条件がそろっている場合は、年金の裁定請求書に必要な書類をそえて、役場へ提出してください。

- ① 老齢年金Ⅱ 国民年金手帳
  - ② 通算老齢年金Ⅱ 他の年金制度の通算対象期間確認書・国民年金手帳・戸籍抄本
  - ③ 障害年金Ⅱ 医師が作成する診断書・国民年金手帳
  - ④ 母子年金・準母子年金・遺児年金・寡婦年金・死亡一時金の場合Ⅱ 住民票の写し・国民年金手帳
- 年金の支給が決定されますと、「国民年金証書」が本人に送られます。

1月15日

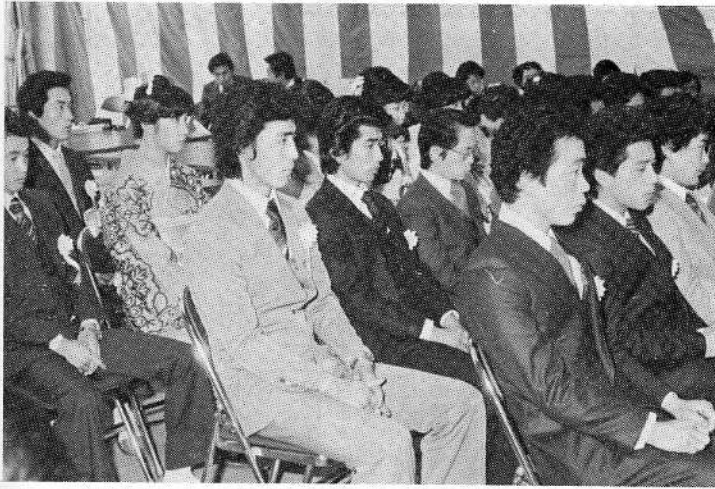
晴れやかな社会人へのスタート

# 今年が四十九人が成人式

一月十五日は「成人の日」。今年、昭和三十三年に生まれた人たちが新成人として晴れやかに成人式を迎えました。

昭和二十三年にスタートしたこの「国民の祝日」も今年で三十一回目。社会への「門出」を祝う「成人式」は、おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を励ます行事として定着してきました。

本村でも、祝賀行事が村民センターで、新しくおとなの仲間入りした四十九人を招いて行われました。



△お祝いのことばを真剣なまなざしで聞く新成人ら

記念式典は、午前十時三十分から村長をはじめ議会議員、青年団長、婦人会、PTAなどの関係者と、新成人が村民センター大集会室に集まり、開会されました。

村から成人証書と記念品が贈られ、続いて村長のあいさつ、教育委員長のあいさつ、来賓の祝辞などがおこなわれ、かわって新成人を

代表して田口由佳利さんが力強く誓いのことばを述べ、一時間にわたる式典を終えました。

このあと、村民センターの玄関で記念撮影、そして婦人会・青年団の企画した記念会食に移りました。

今年、時節からお酒をくみ交わすということは自粛され、晴れて解禁となった新成人たちにとっては残念だったことでしょう。

午後からは、記念行事として新成人の代表で安江敏治さんと安江紀代美さん、青年を代表して樋口春市さんがそれぞれ意見発表を行いました。

そして、最後に県教育委員会の福島晃先生を招いて、「生きていく生き方」と題しての有意義な講演を聞き幕を閉じました。



安江敏治君



安江紀代美さん

な講演を聞き幕を閉じました。

村内該当者が少ないため、中学校卒業生全員に参加を呼びかけるようになった村の成人式も今年で四回目。在学中の恩師も招いて思い出話に花が咲き、いっそう思い出深いものになることでしょう。

こうして、新しく社会人となったみなさんには、数多くの権利が与えられるわけですが、それと同時に義務も負わなければなりません。

成人式を境に、今までとは違った苦しいことが待っているかもしれません。しかし、社会の一員としての自覚を持って、つばに生き抜いていってほしいと願ってやみません。私たちが先輩も温かく見守って行きたいものです。

## けいじはん

戸籍の窓

(一月)



誕生おめでとう  
ございます。

(大明神)安江 覺

信子 (長女) 志保

(栢)本今井 和好

ひろみ (二女) 美恵



おくやみ  
申しあげます

安江 典生 63歳(日向)

安江 隆蔵 78歳(日向)

吉村 なみ 65歳(平)

### ■善意の寄付

次のような寄付がありました。それぞれの意志にそって、活用させていただきます。

—敬称略

(社会教育費へ)  
現金三千四十円

東白川村青年団

(教育費へ)

現金十万円一日向田 口丞之介

(越原公民館へ)

放送器具一日向 青木木工所

文化ししゅう一陰地桂川まつゑ

(郡内の老人ホームへ)

手づくりのつえ百本  
大明神 三戸節雄



# 第31回青年演劇発表会

## 現代の悩みや意見こめ

### 創作劇など練習の成果を発表



△最優秀賞に選ばれた神土分団「実現」の熱演

“自己の向上と住みよい郷土づくり”をテーマにした、東白川村青年団、演劇発表会が体育館で行われました。青年団員たちは、昨年暮れから行ってきた練習の成果を力いっぱいひろろし、観客からは盛大な拍手が送られました。

この発表会も、回を重ねて今年で三十一回目。

現代のように物資や娯楽施設の多くなかった昔は、農村演劇として地域住民の期待も大きく、また脚光をあびたものでした。

しかし、時代の流れに伴って住民の考え方も変わり、一般の観客は減少の一途をたどってきた。

こうした状況の中で青年たちは先輩たちから受け継がれてきた、この伝統ある東白川村の青年演劇を守り続けようと、地域に密着した活動”をテーマに奉仕活動をはじめ数多くの村内行事に参加、積極的にその役割りを果たしてきた。

今回の発表会のため、それぞれに仕事をもち忙しい中で練習を重ねてきました。都合でキャストが欠け、代役で練習した日も何日もありましたが、なんとか発表会を成功させたいという全団員の一致団結した盛り上げで当日を迎えました。

今年発表された劇は、神土分団の“実現”。——これは、近隣町村で行われた、ある劇団の公演に刺激された本村青年団の執行部の数人が、自分たちの村でもぜひ上演し、少しでも地域住民に劇の魅力を知ってもらおう。と計画し

団員たちにその協力を要請。さまざまな苦境を乗り越えて実現させようとする。というあらすじ。この作品は現在の青年団長樋口春市君が脚本・脚色を担当したものである。

また、越原分団は、青年団員と不良少年たちの出会いを通じ、現在問題となっている青少年の非行化をとり上げ、この対策を広く一般のみならずとも考えてみよう。と、本村の社会教育主事でもある安江啓次さんが脚本・脚色を手がけた“響け青春”

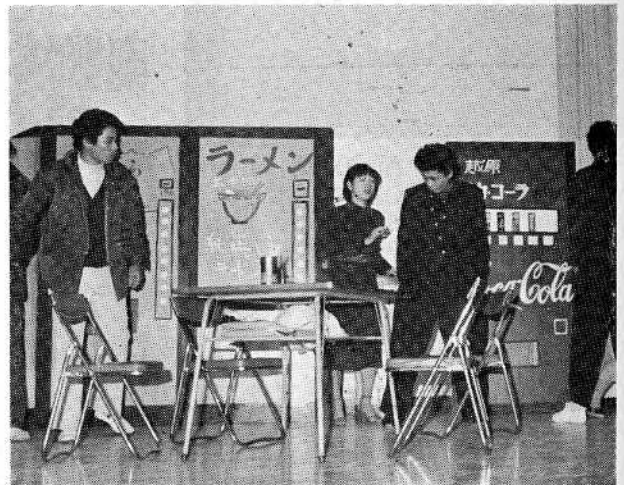
以上のような創作劇と、五加分団による阿坂卯一郎さん作の“河童退散”の三つが上演され、いず

れも水準の高い熱のこもったものでした。

観客は、歴代青年団長をはじめ婦人会、村議会議員、そして一般のみならずなど例年より多くの方が集まり、応援と温かい拍手で、いつもと違った盛大なふんい気でした。

これは、団員たちの発表会までの練習のつらさをふき飛ばすとともに、今後の活動の大きな励みとなったことでしょう。「今の若い者は」という前に、わたしたちの村の将来を担ってたつ若者たちが、今どんな活動をしているのか。自分の目で見、確かめて、悪いところは改めさせ、またよいところは助長するような姿勢が大切です。

▽青少年の非行化をとらえた越原分団の“響け青春”

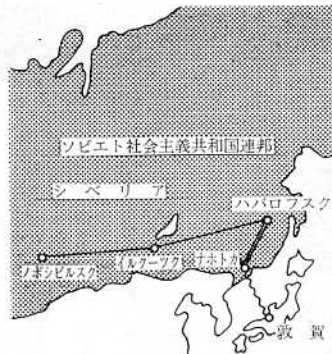


域の中で精一ばい生きようとしていた姿をわたしたち住民は、理解し育てていく必要があるといえましょう。

この発表会は、美濃加茂ブロック大会への代表の選考も兼ねており、神土分団と越原分団の二つが選ばれました。

そして、二月四日、七宗町で行われた美濃加茂ブロックの大会でも神土分団の“実現”が最優秀賞に選ばれ、三月四日下呂町で行われる県大会めざして練習が続けられています。

# シベリア感情旅行記



神 付 宏  
安 江

## 【その三】

### 安江宏君のソビエト旅行記第三回目で

す。  
今回は、ホテルでの苦労話、夜間のサーカス見学などを紹介します。

市内観光は、コースが決められているらしく、インツォリストとバスの運転手との打ち合わせらしいものはなく、後から続くいくつもの団体を卒いて次から次へと進んで行きました。

団体旅行者の中で一番目だつのは、例によって日の丸の小旗を先頭にする日本人旅行者で、そのほかの外人はどここの国の人なのかはつきりとわかりません。話す言葉に聞き耳をたて、自分勝手にあれはアメリカ人、あれはイギリス人、ノルウェー人、スペイン人：などと想像にまかせて判断していました。

市内観光からホテルに帰り、部屋割り、荷物チェック、バスボートチェックなどを済ませ部屋へ向い、さっそうとエレベーターに乗り込んだのです。が、スイッチの文字は、研修や独学でのロシア語

の知識では理解できず、四五人の仲間の手前もあって、とりあえず上へ向かう意味らしきものを押ししてみました。

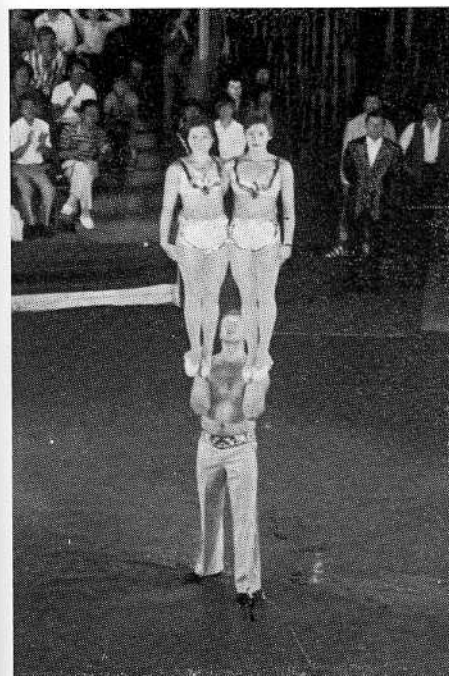
各階のエレベーター昇降口正面にはカウンタが設けられ、そこに各部屋の鍵を管理するダーマさんという女性がいて、またこの時

もひと苦勞しました。

「七一七号室の鍵をください」とにわか仕立てのロシア語で話しかけてみると、ペンと紙を出して「何かを」書けと言ってきた。〇〇号室の鍵をください」ということはうまく伝わったようですが、かんじんの「七一七」というのがうまく伝わらず部屋番号を紙に書けといっているのでは

レストランでの夕食の途中、夜予定していた地元学生との交歓会

夜見学したサーカスでのひとこま



はサーカス見学に変更との連絡があり、食事のあとサーカス見学に出かけました。

ホテルからバスで約十分。大きなテントがみえてきました。そこには、何組もの家族連れが集まりハバロフスク市民全部が見にきているかのようでした。

子供たちはバスケットの中にお菓子を入れ、口にし、また休けい時間にはアイスクリームを買いに走るなど日本の子供たちとあまり変わったところはありません。ただ、雪の中の生活が長いこの地の人たちにとって、雪のない短い季節に数少ない娯楽やフアッシュヨンを親子みんなで楽しんでるようでした。

現地時間で午後十一時ころ、ようやくやくあたりは暗くなり、時間に追われた一日も終わり、寝むりの床に着きました。

## 国民宿舎

国民宿舎は、国民の誰もが健全なレクリエーションと健康の増進をはかるため、気軽に利用できるようにという目的で、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園、国民保養温泉地など自然環境のすぐれた休養地につくられたものです。

公営国民宿舎は、都道府県や市町村が、厚生年金保険、国民年金などの積立金のうちから融資を受けて建設し、経営しており、現在北海道から沖縄まで全国で三百四十一か所あります。

国民宿舎というと、なんとなく一般旅館やホテルなどより設備が粗末で、サービスも悪いだろうと敬遠する人もいますが、大半はコンクリート造りで立派なものです。

部屋は和室が主で、洋室のあるところもあります。

個人でも家族づれでも、また団体でも誰でも利用できますがなにより良い点は、宿泊料金が安いということです。

料金は環境庁が定めた利用料基準に基づいて決めますが、その基準は大人が合計三千四百円（宿泊料千九百円・食事料千五百円）、小学生が二千九百円（宿泊料千四百円・食事料千五百円）となっています。

宿泊は、直接電話か往復はがきで申し込んでください。

## 季節の話題

## 季節の話題

# 邦好の大権など4件 新たに村の文化財に

(伊藤翁愛撫之松大正四年十一月十日、越原青年会建立)の石碑が立っています。

この松は「夜なき松」ともいわれ、赤ちゃんが夜なきをするときこの松の葉をふとんの下に入れておくとなきやむといういわれもあります。

また、長年の間に、大雪・台風などで枝が折れて繁茂生育のおう盛だったころの三分の程度の枝ぶりといわれます。

天然記念物 越原神社の大杉 (日向)

この大杉は、越原神社の創建当時、すでに現在の位置に自生していたものと考えられ、今なお神社の象徴としてそびえ立っています。

幹の周囲(目通り)三・五呎・樹高三十四呎・樹齢五百年。

天然記念物 邦好の大権(平)

この大権は、幹の周囲(目通り)が三・九呎・樹齢七百年で、神土邦好家の庭木として現存しているものです。

天然記念物 翁松(陰地)

これは、越原小学校の前山(村有林地内)にある赤松の古木で、幹の周囲(目通り)が三・五呎、樹齢三百年。五加柏木の伊藤勘介氏(伊藤治雄氏の曾祖父)が、学枝林として寄付されたもので、

日ころで、昔から地元の人たちはこの花をみて苗代時期の目安にしていたようです。

以上が今回指定された村の文化財ですが、これで今までに指定されている遺跡(三件)・建造物(二件)・典籍(一件)・古文書(二件)・無形民俗文化財(一件)と合わせて十二件になりました。

特に今回指定された四件の天然記念物は、管理いかんによっては病気がついたり枯れたりしてしまいます。

これら村の文化財を後世に伝えるため、みんなで守って行きたいものです。

## 教育功労者に

### 委員長の高井さん

昨年の十一月八日、岐阜市で行われた岐阜県市町村教育委員会連合会、昭和五十三年定期総会で本村の教育委員長である黒淵の高井好一さん(五十九)が県下二十八人のうちの一人として選ばれ、連合会長表彰を受けられました。高井さんは、昭和四十五年十月に教育委員として選任され、昭和五十一年からは委員長として現任三期目。

今回の表彰は、この八年にわたる長い間教育行政に尽くされたことに對して贈られたものです。今後、教育行政全般について、高井さんの活躍が期待されます。

抗生物質の出現や予防接種の進歩などにより、伝染病は減ってきました。しかし、小児にあってはまだまだ風疹、百日咳、ジフテリア、麻疹など健康を脅かす恐ろしい伝染病があります。

子供をこれらの伝染病から守る手段として予防接種があります。これは病気にかからないというもののほか、病気にかかっても病原菌を社会にまき散らさないという社会的責任の一つを果たすことにもなります。



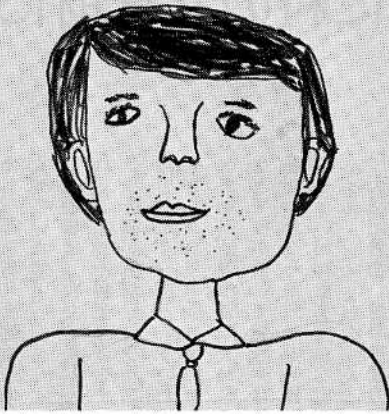
暮らしと健康 予防接種

改定され た予防接種 一、百日咳 百日咳 は、一時接種事故が起きたため予防接種が見合わせられ、二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種が行われていました。しかし、百日咳にかかると小児が増加する一方なので今年四月からまた行われるようになりました。

麻疹の場合には他の予防接種に比べ副作用が起りやすく、接種後五〜十四日の間に不機嫌、発熱、発疹などを起こしますが一〜三日で治ります。接種当日は激しい運動、入浴は避け、翌日も熱を計るなど子供の様子に注意してください。予防接種は健康なときに受けてこそ効果のあるものです。母子手帳ガイドの注意書きをよくよんで接種を受けましょう。

麻疹は、だれでも一度はかかる病気ですが、風邪に比べて症状は重く、小児にとって大きな負担となります。小児の負担を軽くすること、恐ろしい余病(肺炎・脳炎)を防ぐため、麻疹が定期接種になりました。この接種は、二歳児から四歳児の間に一回皮下注射をするものです。副作用 三種混合の場合、百日咳ワクチンによる副作用が起ることがあります。軽い発熱が主で、人によっては高熱を呈することもあります。

## 似てるかな



## わたしのおとうさん

神土小2年 田口 泰葉  
中谷 田口 芳宏さん 長女

わたしの、おとうさんは、  
まい日まい日かいしゃに、出  
かけます。  
うちの、田おこしのごとき、  
あまりいそがしかったのでか  
いしゃを、休んでこううんき  
で、田んぼを、ほってくれま  
した。  
わたしは、「おとうさんは  
えらいなあ。」と、おもいま  
す。

## 子供会卓球大会

## 二十八チームが熱戦を展開

子供会の卓球大会は一月二十一日、午前九時から体育館で行われ、各地区から百四十人のママ選手と、七十人余りの保護者・一般らが参加し、盛大に行われました。

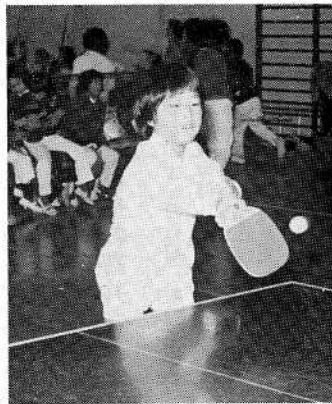
卓球大会も年々盛んになってきており、第五回を迎えたこの大会には会員数が年々減少しているにもかかわらず、大会始まって以来の二十八チームが参加し、予選リーグ、決勝トーナメントと熱戦を繰り広げました。

単位子供会によっては該当する学年に会員がなく、二年生を選手に含め、高学年が二・三年生を教えらるというようなほほえましい光景もみられました。

この日は例年に比べ暖かかったためか、育成者の姿も多く、子供たちにもまじって熱心に応援される親の姿が目につきました。

大会は、終始にぎやかなふんいき

▽不慣れな手つきでラケットをにぎるちびっ子



の中で進められ、午後三時に幕を閉じました。

当日の成績は次のとおり。

優勝 西洞 A チーム

準優勝 下野・宮代・久須見チ

ーム

三位 黒淵チーム

長とろ B チーム

## 暮らしのカレンダー

## \*栄養教室

- ・とき 2月23日9:30～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 53年度教室生

## \*スポーツテスト

- ・とき 2月26日
- ・ところ 村民センター大集会室
- ・対象者 村内の人ならだれでも

## \*岐阜県青年祭文化の集い

- ・とき 3月4日
- ・ところ 下呂町観光会館
- 2月4日七宗町で行われた美濃加茂ブロック、青年文化の集い演劇の部の最優秀賞に輝いた本村青年団、神土分団の「実現、が」出場します。

## \*PTA総会

- 3月4日—東白川中学校
- 3月11日—神土小学校
- 3月12日—越原小学校

## \*中学校卒業式

- ・とき 3月13日
- ・ところ 東白川体育館
- 今年は 71人が卒業します。

## \*麻疹予防接種

- ・とき 3月15日
- 午後1時30分～2時
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 満2歳～6歳の幼児で未接種者及び麻疹にかかったことのない者。
- 対象者には個人宛通知があります。

## \*不燃物の収集

- ・とき 3月19日
- ・ところ 村内各集荷場
- ごみは前日の夕方各集荷場へガラス類と金物類に分けてお出してください。

## \*栄養教室

- ・とき 3月23日
- 午前9時30分から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 53年度教室生
- 今年度7回以上出席した人に村長から修了証書、加茂保健所長から栄養改善推進員の委嘱状が手渡されます。

## \*各小学校卒業式

- ・とき 3月26日

民俗風俗あれこれ

社会生活



一村誌編さん室だよ

身分・階層 (三)

一、ぬり下駄・革緒雪駄の類、村方頭百姓のほか相用い申間敷く候。小前の百姓あるいは無高のものは決して相成らず候。

一、木綿合羽の儀、頭百姓の面々丸袖にして相用い申すべく候事附、下人・脇家等の堅き者は決して相用い申間敷く候事。

一、平日腰物の儀、村役人は勿論頭百姓のほか相用い申間敷く候もつとも小前の者にても、旅行きの節は苦しからず候事。

一、小百姓ならび無高や小前のものは、村役人の申付けを相守りまたは頭百姓によく従い、何事にも違背之無き様仕る可く候事以上のような身分や階層にかか

互助慣行 (一)

わるしきたりは、その後明治初年のいわゆる四民平等によって、従来の士・農・工・商の階層別はなくなり、これまでの農民階層以下では平民として、服装・家屋そのほか日常生活上の制限や、結婚・職業・居住の制限がはずされ、法制上は個々の生活力に応じた自由なくらしが認められるようになった。

しかし、過去数世紀にもわたる長い間の階層意識や家格に対する観念的支配は、その後も農民の閉鎖性と共に根強くはびこり、戦前までの農村社会を強く支配していた。

互助慣行 (一)

村の互助慣行として、モアイ(共同労働)、ユイ(交換労働)およびテツダイ(労力提供)があった。

モアイは、主として道普請(道路補修)・灌漑用水管理など生産につながる部落内での共同作業であり、昔は焼畑や木草刈り、肥灰(草木灰)焼き、材木の川下げなどが多く行われていた。

また、葬式モアイは、葬家と親類に代って葬儀を執行するのが、このあたりのしきたりであった。

ユイは、この村では普通テマガイ(手間替)と呼ばれ、労力の交換ということで重要な役割を果たしてきた。

▼今月の料理▲



スナックサンド (一人分)

材料 卵：一個・ベーコン：二十枚・玉ネギ：三十枚、バター大さじ1/2・ロールパン：二個

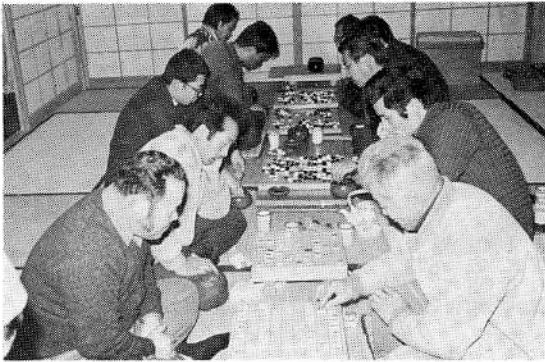
作り方 ①玉ネギはみじん切り、ベーコンはざっと湯を通して横に細かく切る。②小鍋にバターを入れ、弱火でベーコンをざっといため、つぎに玉ネギを入れてさらに一分間ほどいためてから、割りほぐした卵を加えてまぜながら半熟程度にいたため火からおろす。③ロールパンを切り開いた間に②を入れる。

いり卵サンドイッチ(二人分)

材料 卵一個・玉ネギのすりおろしたものと小さじ一・塩こしょう少々・だし：大さじ一・バター大さじ二・からし少々・パン二枚

作り方 卵はだしを入れてほぐし、塩こしょうで味付けし、すりおろした玉ネギを入れてフライパンに油をきき、卵を流しこんでハンシでかきまわしながら卵を作り火からおろす。

パンにからしバターを塗り、その間にはさまむ。



△囲碁クラブと合同の月例会

真四角のふ厚い将棋板を、はさんで向かい合う二人。その板上をにらみつけるようにお互いが考え込む、そして時おりパチパチと駒が進む……また考え込む。

ここは東白川将棋クラブの月例会でのひとこま。

将棋……それは、紀元前十四世紀ころ、古代インドに起ったといわれ、日本へは平安時代中国からその原型が伝わったといわれています。

東白川将棋クラブでは、こうした長い間の将棋の歴

趣味のグループ

例会を通じて仲間づくり

東白川将棋クラブ

史をながめて趣味としての喜びをかみしめるように研修を重ねています。このクラブは結成されてわずか一年たらずですが、昔から趣味としてやってきた人が多く、な

かなかの腕前という人も多いようです。クラブ員は、会長の安江登己さん以下二十四人で、月一〜二回の例会と、年一回の大会が活動の主なもの。

他のクラブと同様、クラブ員の

年齢はやはり年輩の人が多くです。しかし、三十歳代前半の人の姿もちらほら見られ、活気にあふれた例会が行われています。

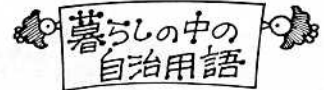
また、よく似た趣味として囲碁クラブへも入会している人もあり特に今年からは囲碁クラブと合同で例会を行っているため、一回の集会で二つの趣味を味わえるという一石二鳥のメリットもできています。

クラブでは、こうした集いを通じて個々の腕をみがくと同時に、幅広い仲間づくりをめざしています。



## 交通事故死亡「ゼロ」 1,000日を突破

平バイパス下入口に設置されている、「交通事故死亡ゼロ標識」の日数は、昭和51年5月に本村大沢地内で起きた交通事故死亡事故以来「ゼロ」の記録をどんどん伸ばし、この2月11日に1,000日を突破しました。これをまた新しい出発点として二度といたましい死亡事故を起こさないよう、村ぐるみで心がけさらに記録を伸ばしたいものです。



# 地方交付税

ここ数年、国の予算編成期になると、地方交付税が地方財政対策の最大の焦点になっていきます。

地方税と並ぶ地方団体の一般財源の柱です。  
ところで、わが国の場合地方税収入は地域により著しく偏っています。そこで、すべての地方団体が一定の行政水準を確保して行くためには、この地域間の財源の偏

地方交付税は、

在を調整するとともに、地方団体に所要の財源を確保することが必要ですが、地方交付税はこの機能を果たしています。

地方交付税制度は、国と地方の財源配分の一環として、国税三税（所得税・法人税・酒税）の一定割合を地方に配分するものです。現在の配分率は三二多ですが、昭和五十年以降は地方財政の悪化により、これだけでは足りず、臨時的



にその原資を国庫から借り入れて、本年度の地方交付税の総額は約七兆円（歳入の二一％）で、それぞれの団体の収入と財政需要の状況に応じて配分されていますが、一部の富裕団体には交付されません。



あなたの作品をお寄せ下さい  
・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。  
・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい

田の畦にはヤタンボポの花開き狂ひ咲きらし冬暖かく

○若きより苦労重ねし夫ゆえにいたわり呉れよと嫁にねがひし  
大朝神 田口千代美

○ガス釜の湯気立つ朝の炊事場に味噌を擦るなり妻の留守にて  
六朝神 安江 香

○足袋をさへ履くすべ知らぬ娘のありて成人式の仕度手間どる  
朝山 安江 幸

○命綱確かとゆわへて法を切る七十路の我に木枯は沁む  
朝山 加藤 公一

過ぎし日の囲爐裏の焚火なつかしみストーブ置きて薬仕事する  
神村 早瀬 勇造

青竹でがさごそ拂ふ屋根裏の煤が煙りて眼に沁みるなり  
中谷 小池いちの

○孫達の吹くシャボン玉宙に舞ひ花散ることく小さき虹立つ  
平 安江 武子

新春のさえずり止みし鳥の音に亡き母偲び遠き山を見る  
平 安江 守平

○朝夕に義父の遺影の前に立ち日課告ぐれど言葉返らず  
平 若井 信江

○今朝もまた一つの橋を渡り行き働く仕事のあるを喜ぶ  
平 伊藤 重雄

永久の平和を祈り大空に指さす人やブロンズの巨像  
長崎にて 三戸 きり

○勝つ見込みなしと思へど孫達と歌留多並べつすこし若やぐ  
下野 安江とし江  
赤き実を守るが如き緑葉の蔭に鋭きピラカンサスの刺  
宮代 今井 米子

○政治家の苦勞は知れど今すこし泥を洗って出直して呉れ  
時事有感 田口 良三

○締切日は必ず各月末迄に願います